

群青の風

発行所 所長 峰
関市平賀長 岐市平賀長
岐市平賀長 岐市平賀長
同窓会
☎(0575)22-9401

学長対談

六十三年十一月五日(土)大
学祭の開催中、小林学長とO
B会会長、OB会事務局小野
木先生(R科)、丹羽先生(M
科)の対談を行いました。主旨
は、OB会と短大との今後の
協力のありかたについてが、
主なねらいです。また短大の
これからの行くえ、それにタ
イアップしたOB会の存在
(目標)です。小林学長との対
談を集約してみますと、先ず
は医療専修学校からスタート
して、十五周年を過ぎ、もう
すぐ二十周年を迎えようとし
ています。二十周年記念行事
として短大内で学術大会を催
したらどうかというテーマが
出ました。卒業生から演題
テーマを集り、発表会や、講
師を招待して講演会を開き、

そして親睦会をもつという
内容です。それから、準会員
である学生に関しては、とり
もなおさず病院実習に於ける
その施設や卒業生による協力
をおしまない。尚かつ実習内
容についていろいろ学校側と
連絡をとりつつ、実習指導を
充実していかなければならな
いのではないかと内容で
す。また、OB会も短大施設
を利用し、MR科合同の勉強
会を今以上に発展させ、卒業
生と学生も参加できる会をも
つというところで、短大の協
力を要請していく。そして、
それが全国各地の卒業生の間
に波及されることを望んでや
みません。短大も将来は看護
科を増設する計画を持ってみ
えるようで、そうなりますと
岐阜医療技術短大も今以上に
大世帯になりますので、学長
自らもOB会室の設置を考慮
しなければならぬと、たの

もしい発言がありました。
学長対談を終えてとても有
意義な対談内容でした。これ
からは、こういう機会を年に
一回はもち、短大の動向を卒
業生の皆様にお伝えできれば
幸いですとおもいます。

大学の現状と将来

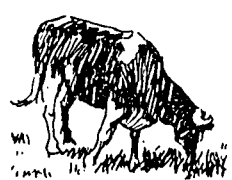
学長 小林瑞穂

短期大学発足以来満六年を
経過し、教職員や卒業生の皆
さんのご努力により、本学へ
の受験者総数も年々一二〇〇
名程度が維持され、量的にも
質的にも極めて安定した内容
に発展して参りました。国家
試験の合格率も年度により差
はありますが80%以上の合格
率が得られています。今年の
衛生技術学科は特に高く、実
に94%と云う例年にならぬ優
秀な合格率でした。就職状況も
診療放射線技術学科の好況で
ある事は例年の通りですが、
衛生技術学科もこの2年程極
めて好調で全員就職は勿論で
すが、求人依頼が例年に比べ
著しく増加の傾向にあります。
この様な状況は卒業生諸君
の現場での高い評価の結果で

あることは云うまでもありま
せんが、短大と云う一校校で
の教育の特性もまた見出すこ
との出来ない要因の様に思
います。先づ入学生の素因が前
述の様に高いこと、加えて、
これは諸先生方のご努力の結
果であります。講義、実習
は勿論のこと、勉強の仕方
や生活指導を含めて、指導体制
が確立し、かつ、それに対し
学生諸君も充分応えてくれて
いる結果と考えます。

皆さんもご存知の様に、一
八才人口は岐阜県では来年を
ピークに低下を始めます。こ
のことは進学人口の減少を意
味し、今後の大学の経営に重
大な危機感を与えています。
そのためいづれの大学も将来
を展望しさまざまな施策をし
ております。本学では医療技
術の総合短大の建設を目標に
本年7月に看護学科の開設を
申請いたしました。この他校
地を新しく入手し総合グラ
ドを新設、更には新設の看護
学科棟に続いて衛生技術学科
棟の建設、図書館を含む事務
棟等の建設を計画してござ
います。以上の様な計画を六
七年内に完了し、名実ともに
充実した医療短大とする様努

力しております。卒業生の皆
さんもますますご精進頂き、
本学への一層のご支援をお願
いたします。



会員番号の導入が決定!

待望の会員番号が完成しま
した。
7ケタで表します。

	A	B	C	D	E
例	0	0	0	1	1
A欄	0: 国際卒、		1: 短大卒		
B欄	0: 国際卒、		1: R科		
C欄	0: M科、				
D欄	1: R科				
E欄	0: M科、				
	1: R科				
	0: M科、				
	1: R科				
	0: M科、				
	1: R科				

「国際卒M科の1回生1組11番」
の会員番号です。

おひさしぶりね

同窓会にて 国M一

岐阜大学医学部附属病院

中央検査部

後藤 清

国際医学総合技術学院第一回生の同窓会を平成元年四月二十九日に岐阜会館で行いました。卒業して十三年になります。この同窓会で三回目を迎えました。会場へ一番に入った幹事である私は、どことなく落ち着きがないまま同級生を待っていました。まず始めに富山県立中央病院の朝野君が、次に中濃病院の西部君が、そして塩浜病院の位田君、美濃病院の島口君、県立岐阜病院の高田君がみえ、女性(旧姓)は福田さん、高井さん、横家さん、長野県から神田さんがみえ、最後に交角君と全員が揃いました。三宅先生をお招きしての同窓会話は話か尽きず、予定時間をはるかに越えてしまい、次回の同窓会には全員が出席を約束して、二次会へと続くのであり、二次会へ歩いて5分ほどの東柳ヶ瀬のスナックで

行いました。揖斐病院の五十嵐君の参加もあり、三宅先生を中心に全員がよく話し、よく飲み、よく食べてであり、ウイスキーも一本追加したほどでありました。幹事の責任も無事終わり、最後にみんなと別れるのが少々つらかった夜、10時30分過ぎの事でありました。

追伸、第38回 日本臨床衛生検査学会の為、出席出来なかった皆様には大変申し訳ございませんでした。次回の同窓会を楽しみにしています。

↓終わり↓



平成元年4月29日(岐阜会館にて)

右の写真により、同窓会より、一人あたり五百円の補助をさせて頂きました。

(事務局)

短大一回生

同窓会を行なって

長浜赤十字病院

幹事 藤原 将洋

「平成」と元号も新しくなつた一九八九年は、例年より春の訪れがはやく長良川畔も緑に満ちあちらこちらで桜の花が咲いていました。

三月二十五日、二十六日に長良川ホテルに於いて短大第一回生の気の合った仲間たち10人ほどで同窓会を開きました。出席してくれた人の中には、仕事を終えたあと車をとばして来た人や新幹線に乗って来た人、またわざわざ休みをとって来た人など、なつかしい顔みたさに集まって来てくれました。

宴会では、卒業以来はじめて会う顔々が大変なつかしく、またうれしく思い、みんな学生のとくに逆戻りしたように人の迷惑もかえりみずはしゃぎまわりました。

宴会が終わったあととも部屋に全員が集まりまた酒をのみ語りあい楽しく有意義(?)にすごしました。

翌日、帰り際にみんなが口々に言ったのは、「また来年も集まろうぜ」という言葉で

した。それを聞いた私、幹事としては、今回この集まりを企画して本当によかつたと思えました。

今回の集まりを機に、毎年、いや、定期的にこのような集まりをやっていきたくと思つていきます。

なお、今回集まった人には、ご多忙の中を来ていただきまして本当にありがとうございます。

R科同窓会の案内

日本放射線技術学会第17回秋季学術大会に併わせ左記の通り開催します。

多数の出席をお待ちしています。

期日 10月14日(土)

連絡先

佐藤 順一(国R三回生)

勤務先

札幌医大附属病院

(〇一一六二一一二一一)

※会場、会費、時間など詳細は未定につき、出席希望者は、連絡下さい。

※技術学会懇親会場(札幌ビール園)へ午後8時までに入場して下さい。



平成元年3月25・26日 撮影 操 武 (長良川ホテルにて)

寄付

金 五万円

澤田善之氏(国R五回生)

綾部協立病院・京都

医療に関する優秀な技術者の養成の為の教育、研究に必要な施設の拡充及び設備の充実の為に少額ですが役立てて下さい。

京都府 綾部市

澤田 善之

毛利金吾先生叙勲祝賀会に

出席してみて

国R九 近松 薫

私が毛利先生に撮影技術学の講義をしていただいていたところが2年生の後期のことでした。

あれから今年ではや7年目となりました。

卒業して県立多治見病院への配属が決まり、毛利先生のところへあいさつにうかがった時、毛利先生が学院におみえになる以前は当院で技師長をしておられたのだと私に話していただきました。

その時先生は今後は先生の後輩となるわけだからガンバツてやるようにと励ましていただきました。

その時から先生とお会いする機会もありません、5年が過ぎて今回となったわけですが、今回祝賀会に出席してみても、あらためて先生のすばらしさに驚かされました。

毛利先生は今回勲6等に叙されたわけですが、祝賀会に集まられた60余りのうちの大半が各方面の先生方でしめられており、それが毛利先生の業績と人柄によるものである

と思いました。

今回参加させていただいたことで一番強く感じたことは、今後私自身いっそう努力して少しでも先生に追いつきできれば追い越せればいいなあと思いました。



平成元年7月8日 (江陵閣にて)

細胞検査士を取得して

東濃病院

国M九 春原 剛

最近複雑かつ不明瞭な社会構造になりつつあり、それに伴い疾患も種々様々な様相を呈するようになってきた。

そして検査業務もそれにつれ細分化され、しかも各分野において専門知識が要求されるようになってきた。その中の一つに「細胞診」という分野

がある。これは提出された検体の中の細胞のよしあし、あるいは状態を顕微鏡を通して判断するものである。それには、本ばかりの知識だけでなく、実際の標本を鏡検し、その積み重ねによってその技術を修得していかねばならない。従って、悪性細胞に限らず正常な細胞も認識するためには多くの標本を見なくてはならない。そのためには、自分の施設の検体だけではなく他の施設や研修会などに赴き自分の施設で扱っていない検体や稀少症例の標本なども見る必要がある。

ところで、細胞診には資格認定試験というものがあリ、その資格を得ることによって一定のレベルをもった細胞検査士(スクリーナー)として認められることになる。この試験には、臨床検査技師で2年の細胞診経験を有する者において、一次試験と二次試験があり、一次は筆記試験(婦人科、呼吸器科等関連科別)、二次は顕微鏡的検査である。これを通るには知識・技術を兼ね備え、それを十分理解して試験を通ったのちも診断技術の維持・向上に努めなければならぬ。

ばならない。

学校での講義や実習で学んだ知識は、基礎的なものである。しかし、実際の病院における検査では、さらに高度な知識が要求される。また新しい検査法や試薬なども次々と考案・開発されている。

従って、著しい進歩に追いついて行くには、絶えず勉強していかなければならないというところを、この取得において考えさせられた。

渉外だより

今年度の本会は、他校同窓会との交流は、右の通りであった。

4月 仁愛女子短期大学 (福井市)

同窓会創設20周年記念号 会報「六和会」などを戴いた。記念号はB5判、68頁の素晴らしいものであった。

6月 城西放射線技術専門学校 (東京都)

会報「城西放射線会報第13号」を戴いた。第26回総会・学会プログラムや医療法施行規則の新旧対照表の内容を中心としたB4判4頁であった。今後今年以上に多くの学

校と交友を深めて参ります。

国家試験合格率

平成元年度卒業生の国家試験について報告します。

第35回臨床検査技師試験

受験者数74名
合格者数70名
合格率 95%

第41回診療放射線技師試験

受験者数92名
合格者数78名
合格率 85%

以上

文化祭開催のご案内

今年も11月3日文化の日を中心に第5回大学祭を予定しています。

昨年同様、国際医学の開学から昨年度卒業生までのアルバムを一挙公開。

又、全卒業生の名簿も出展します。

後輩のエネルギーなフェスティバルにあなたも参加を是非どうぞ。

シリーズ
The 下宿

塚原荘編

語り手 大家さん
聞き手 国M七 林 博之
事務局 小野木

前号にひきつづき学生寮訪問、今回は塚原荘編です。

事務局が突然邪魔してインタビューしました。

林 おばさん、ご無沙汰しました。今日はぜひ下宿をしてのこぼれ話を聞かせて下さい。

大 国際医学の開校の時に下宿が少なくて困っていると聞いてまず十部屋から始め翌年には十六部屋増築しました。

始めのうちは食事付がいと調理師の免許もとって用意していましたが、田畑にいそがしくてなかなか大変でした。それで裏の畑に野菜を作っておくので自由に取っていつでも自炊することになったんです。結局さらに増

築して三十二人となり、今年からは女子ばかりになりました。とうとう女子寮になったんですか。塚原荘は他の寮よりきびしいと言うイメージがありますか？

大 始めたころはマージャンを夜おそくまでやって近所迷惑になるのでよく注意しました。それでも毛布を引いてその上で音をこらしてやってたようでした。だんだんマー

林 ジャンはへりました。酒をのんでさわいだりして限界をわきまえないとおこりました。

大 車は全面禁止ですね。今もそうです。男女共い使いましたよ。今は用心棒がわりの男子がいなくなつたので、門扉が付き

林 女子が多くなって変わりましたか？

大 最近部屋でケーキ作り等をやっているようです。家具等も前は先輩からゆずってもらったのですが、今は全部新品、冷

蔵庫、TVはもちろん電子レンジを持っている子も多いです。僕の部屋にもないのに、すごいですね。

大 でもほかに寮の設備について要望も多くなりました。

若 わー、お久しぶりですね。この人も免許を取つたのよ。

若 インテリアコーディネーターに合格したのよ。資格を取るの大変ね。みんなも羽根をのびしう

大 合格するのにならざるわよ。(一同笑い。)

林 いろいろな年中行事がありましたね。始めに新人歓迎会ですね。新人には必ず一人一芸をやってもらっています。最近はお酒がなくなりつつあります。初夏には焼肉パーティーをやります。11月の終りには追い出しコンパもあります。

大 もらいました。テスト期間中に食事の心配をしなくてすむように配ります。全部で6升炊きます。前までうらの竹林で竹の子が出ると炊いていきましたが今はそこは公園に変わりました。

大 国試の前には吉田観音へおまいりに行きました。もう百五十人近く卒業しましたね。

大 子供の写真入りとか、結婚式の写真入りの賀状をくれる人も沢山います。家を新築しましたと云うのもあり、便りはうれい

大 結婚式は一報あれば祝電だけうっています。寮を始めたころに生まれ

大 たくさんの学生を送り出されてもつといろんな話もあるとは思いますが、今回はどうも有り難うございました。

林 これからも元気でがんばって下さい。

ことしの病院訪問

教授 三宅正美

今年の病院訪問は静岡方面について書かせてもらいます。8月9日(水)、自宅を出発し最初の訪問先は島田市立病院です。病院に着き、早速短大3

回卒の西本雅子君を呼び出し、会うことができ久しぶりに顔を見、お互いになつかしく感じ

ました。広瀬部長、鶴見技師長にも会い、検査科を案内してもらい、これからの卒業生もこれを機会によく頼んで

おいた。続いて、焼津市に向かった。焼津市立総合病院では、まず技師長と面談。今後の在生、卒業生についてよく

ろしくお願いをしておいた。卒業生国際4回卒北原君、9回卒増井君に会いしばし歓談。突然の訪問でびっくりしていったよう、たいへんなつかしく感じた。卒業以来初めて会う位だったと思う。二人ともすっかり頑張っており、頼もしく感じ、次の目的地、富士市に向かった。富士市立病院には、今年卒業の中里浩味君が就職しており、病院について早速面会した。仕事であ

した。技師長さん不在の為副技師長の鎌倉先生に会って就職のお礼と今後のことをよろしく頼み、次の富士宮市立病院に向かった。そこには短大1回卒の佐野千代美君がいます。彼女は就職して3年にもなるのですが会ってみると学生の頃とあまり変わりなく熱心に仕事をしており、一人前の技師として頑張っており、安心してこの病院を後にした。次に清水市に向い、国際9回卒瀬尾君の世話で清水市内に宿泊した。翌朝、桜ヶ丘病院をたずね、野沢技師長さんと面談、続いて事務長、若月部長とも、しばし歓談した。この病院は私とは十数年前からのつき合いで、何となく親しみを感じている。昔と比べると病院も改築され一段と充実していた。瀬尾君、短大1回卒竹内君、富田君らにも会い皆すっかり頑張っており頼もしく感じた。次に静岡済生会病院に向かった。この病院には短大3回卒成岡宏美君が頑張っていた。本学卒業生としてただ一人であった。仕事中心であったので短時間の話で終わり、続いて榛原町に向かった。榛原総合病院では短大1

回卒柴原孝枝君、短大3回卒桑田絹代君の2人がおり、突然の訪問でびっくりしていたようで2人ともよく頑張っていた。次に町立浜岡病院を訪問した。この病院は新しく建てられた病院で、一度訪問しておきたい病院であったのでたいへん楽しみにしていた。技師長の大林先生とは旧知の間がらで再会を喜んだ。又短大2回卒赤堀君がおり熱心に検査をしていた。更に奇偶にも他の部門であったが、国際6回卒の飯田美紀代君に会った。たいへんなつかしく感じた。結婚して子供があってもやはり昔のおもかげがあるものだなと感じた。次に袋井市に向かった。袋井市民病院には短大2回卒安西郁恵君と今年就職した鈴木わか代君がおり、更に今年3学年の三輪裕子君が実習していた。この病院での実習生は幸せだなと感じた。なぜなら本学卒業の優秀な2人の先輩がいるからこそ色々学べるだろうからと。この2人の先輩がいる限り、ここでの先輩の面倒はしっかりみてくれるだろうと安心して次の浜松市へ向かった。まず厚生連遠州総合病院を訪ね

ることにしていた。久しぶりに兼子君(国際3回卒)に会い、元気な様子で安心した。技師長さんに挨拶をし卒業生の3人(国際6回卒伊藤登美子君、短大1回卒田嶋里依子君、短大3回卒高橋香織君)としばし歓談をした。皆それぞれ評判がよく、私としても気分をよくしてホテルに帰った。翌朝、社会保険浜松病院に出向き、技師長に会いしはし歓談をした。ここでも本学の卒業生をほめてもらい、たいへんうれしく感じた。短大3回卒柿野奈也君、神井園子君とも会い、よく頑張っている様子で励ましておいた。続いて聖隷浜松病院に向かい、宇佐美技師長に面会を求めたが不在であったので柴崎課長と面談した。本学卒業生は皆よく頑張っているとのことと安心して。又卒業生(国際2回卒中村若子君、9回卒長嶋君、短大3回卒島村久君)に会ったが、仕事で仲々ゆっくり話ができなかったのが残念であった。又在学生3学年中峯丈美君に会い励ましておいた。まだまだ続きますが、紙面の関係でこゝまでとしておきます。

会員の声

一昨年から技師会の理事でお世話をさせて頂いております。忙しい中、理事会会議に出席したりして仕事に張りあいを感じている毎日です。後輩も積極的に仕事に打ち込み有り難く思っています。

国 R 二 草田行雄

少林寺拳法部が廃部になっ
ているとは……大変残念です。
でも、私達は今年に一年or
半年に一度は必ず集まっては、
昔、絶頂期の少林寺拳法部の
話しをしています。あの頃は
私の最高の宝です!!誰か骨味
のある人は、現れないもので
しょうか?

国 R 五 太田広子

役員の方ががんばって下さい。
国 M 九 服部由美
(刈谷)

☆ガンバリマス!!
会計監査 伊東

こちらに引越してきたばかりで、まだこの辺のことが

わかりません。したがってこちらの病院とか、検査センター等の職員募集の状況がよくわかりません。何か就職先がありましたら教えて下さい。

国 M 九 宮田佳子
(底畑)

毎回、毎回編集委員会のたびに色んなカップヌードルが食べられて楽しみにしています。

編集委員 向ユミコ

いなかに戻ってきて一年、やはり仕事は、アルバイトや臨時ばかりですがなんとか首はつながっています。
あいかわらずまだ独身で、ブラブラとしています。
もうそろそろ、三十才も近いし、オバタリアンになってしまいたいそうです。

国 M 八 田川真弓

薬品の安全性試験を行う会社に入って5年たちました。資格を一番ほこりに思う人から見れば、魅力のない職場かもしれません(私も初めはそうでした)。でも今は知識や技術に自分なりにほこりをもつてがんばっています。いろいろなラボで働いている人も、自

信をもってがんばって下さいね。又、先生方、学生さんにそういう道もあることを、もって教えてあげて下さい。

国M九 三田英美 (岩津)

三宅先生、山城先生はじめ諸先生方、お元気でしょうか。私は現在、仕事においては、心臓カテーテル室専属の検査技師として働き、家庭では二児の父となろうとしておりますが、これからも頑張っております。中部地区で技師会の全国学会がある時は、是非、同窓会の開催を……。楽しみにしております。

国M八 鶴田 茂

☆全国学会、地区学会時の同窓会も、どしどしやりたいと思っております。

会長 増田 豊

「当時の事務員が何を思ったか山田一彦としたのか知らないが姓を変えた覚えはないので訂正するように」

国M五 加納一彦

よき先輩井上さん、かわいい後輩神野さんにめぐまれ、

毎日楽しく勤務しております。たいした事はできませんが、どんな実習生を送って下さい。

国M五 谷 欣典

六十三年四月奈良医大から奈良リハセンに転勤となった専門職から一般職になった気分、技師学校の臨床検査講座を見直している毎日新鮮で懐かしいです。奈良県の病院に勤めてる卒業生を教えてください。

国M四 久保田正二

「只今失業中です」

国M十 松尾寿子 (寺本)

卒業以来五年務めた名古屋を離れ、郷里愛媛の山の中へ帰って早二年、親しかった友とも離れ「群青の風」懐しく読ませてもらいました。今後同窓生の声を地方の僕達に届けて下さい。

国M八 平岡重司

となりの市立病院の技師と数万円の差。安月給で一家四人くらしています。労働組合の幹部役員もやり、技師のレ

ベルアップのためがんばっています。初任給でまどわされるな!

国M二 伊藤富雄

検査センターで日本で唯一ドーピング検査のできる大手一、二位を競う会社でがんばっております。

短M二 関 聡子

現在は、艦船勤務で衛生科員として主に看護の仕事が主です。そのうち自衛隊病院へ勤務する様になるでしょう。妻は、舞鶴済済病院で非常勤のアルバイトをしています。今年10月出産の予定。

国M七 足立英之・智子

札幌から小樽へ引っ越ししました。山の上に家を買いました。舟見坂(冬は車が通行できない)を往復しています。山があり、海があり、朝市でうまい魚を買い、あこがれの場所が満足しています。今、26才。ローンは25年。うろうろ。たいへんだべさ。細胞診、今年はうかるぞ!こんなんできましたけど……。

国M九 山本修資

二月十八日(土)長女出産 四一〇〇g

国M十 伊藤正文

卒業以来続いている市民楽団、一昨年東海大会に各務原公民館に、昼食のみそカツ定食、岐阜は全国的にみそカツがうまい!同窓会に用事が重なり、今年こそはと期待しています。

国M六 桑名 寛

こちらは釣りのメッカです。私も昨年は、一二cm 二一、二kgのヒラアジを釣りあげ、地元の新聞に写真入で載せてもらいました。ぜひ、こちらに来られた折には、釣りに行きますよう。(追伸 師匠はM6、原田さんで現認者はM7の時田さんです。)

国M十 上野伸広

社会に出て早、5年目に入ります。これからは今までの以上に頑張ろうと思います。

先日学校の方へ訪ねましたら本館の周囲とか酷試坂の入口周りが随分きれいになっていておどろきました。休日だった為先生方にお会いできなかったのが残念です。また近いうちに同窓会でもあればと思う次第であります。

ただいま細胞検査士の資格を取るべく勉強中 同窓の方で同じ志をもつ方又はスクリーナーの先輩の声を聞かせ下さい。

短M一 吉村直子

☆本号三ページをお読み下さい。

事務局

出産を機に退職し、現在専業主婦となり、一歳二ヶ月の娘の育事がんばっています。いつかまた、臨床検査技師として働ければいいなあ、と思っはいるのですが……。

国M九 新井聖子 (阿字野)

第36回第37回と日本臨床衛生検査学会において2年連続発表しました。

「医療とコンピュータ」医典社(株)の別刷「臨床検査とコンピュータ」に投稿しました。一九八九年二月十日発売 皆さん読んで下さい。

国M四 中村政雄

岐阜県支部

M・R 勉強会

昭和62年、年末より行なわれてきたM科勉強会を、平成元年度より、本学の特長を生かし、M・R合同の勉強会としてスタートします。

医療の高度化に伴うチーム医療や、コ・メディカルとしての知識を高めるために、基礎的な反復や、又、実践的なものまですべてを対象に行ないたいと思います。

M (Medical) 科
R (Roentgen) 科
(study) 勉強

を略し、MRday (ミスターデイ)と称します。(ちなみにミスターデイとは、M科R科のための日、と云う意味を含みますが、けっして、ミスディーではありません。)

楽しい雰囲気の中で、何でも質問ができ、参加して良かったと思える勉強会としたと思います。

日時：毎月最終水曜日

午後七時～九時頃迄
場所：岐医短、教室にて

担当：奇数月はR科、偶数月はM科で交互に行

なっています。

質問などわからない事のある方は、同窓会、事務局、小野木満照か丹羽民和まで、お電話を下さいませ。

国R一

岐阜病院 大塚 誠

ソフトボール

今年も実習生のやって来る時期を迎え、当院へは6月の初めから、多数の学生が訪れた。当院の放射線技術部は、外来・中央・特殊放射線室と3つのセクションに分かれていて、学生ら自身で予定を立て、数日間づつ実習していった。毎年の事ではあるが、慣れないネクタイをし、かしまって普段は使う事のない敬語まじりの言葉を使う彼らに思わず、「ご苦労さん」と言いたい気分であった。中には、当院への就職を考えている学生もあり、彼らにとっては一杯の「いい子ぶりっ子」だったと思う。今年の学生は、全体的に素直ないい子達ばかりであったが……いや、あぶない子もいたかな？いづれにしても病院の雰囲気慣れるに従い、緊張もとれて楽しく付き合える様になった。

学校別にみると、岐阜医療短大が一番多く7名、藤田学園保健衛生大学が2名、京都医療が1名、川崎医療短大が1名であった。

8月2日、この学生たちとPm7:00からナイターでソフトボールをした。学生チーム対旧学生チーム(放射線技術部職員)である。

学生たちは学校も違うし、俄かづくりのチームであるため旧学生チームの快勝を信じていた。しかし、非常にうまい連係プレーを見せ、病院では見せてくれなかったハッラツとした汗一杯のいい顔を見せてくれた。結果は若さに押されて10対3学生チームの勝利であった。ゲームのあと病院に戻り、総勢30名程でワイワイ食事をした。みんなの自己紹介から病院での印象を話し、楽しいひとときを過ごした。

すばらしくハッラツとした若いエネルギーを持った彼らが来年は我々の仲間として社会へ出る。頼もしく思うと同時に、彼らの今後の奮闘を期待したい。

国R一

大垣市民病院 安田鋭介

住所、勤務先など変更は

事務局まで

投稿を待っています
論文、紀行文、ひと言



計報

会員

1/2 養老中央総合病院

森本 孝枝

(国M5回生)

1/2 天然寺学生寮

岩田 みよ志

享年62才

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

終身会費値上げ

平成元年度より、終身会費を値上げする事となりました。

一、年一回「群青の風」

発行及び発送

一、各支部、各クラス同窓会

活動の助成

一、国試時に於ける準会員への昼食(補助食)の世話

一、卒業記念品の配布

一、同窓会本部の備品、消耗品類の購入

一、その他

右に記入したものが、現段階の主な活動ですが、会計上少々困難となり、終身会費を一〇、〇〇〇円とさせて頂きましたので、会員の皆様には、報告致します。

クラブ通信

〈バドミントン〉
 ・岐阜県学生春季選手権大会
 (男子)
 ダブルス 最高 ベスト8
 シングル // 3回戦
 (女子)
 ダブルス 最高 3回戦
 シングル // 2回戦

〈バレーボール〉
 (男子)
 (練) ○4-0 市役所
 (練) △2-2 //
 (練) ○6-0 //
 (女子)
 (練) ●0-3 関商工
 (練) ○4-0 市役所
 (練) ●0-2 中部女子

〈写真部〉
 ・関市文化芸術展 入選

野球・バレー・バスケット部のOBへ
 現在3部共同のOB会の開催を計画して
 います。OBの方は、近況報告欄に所属
 クラブ名を記入して下さい。追って連絡
 致します。

〈軟式野球〉
 ・高松宮杯 不戦敗
 ・(練) ●4-5 一丸ファルコス
 ・働く青少年大会
 ●2-9 ウィングス
 ・(練) ○7-0 岐北病院
 ・(練) ●5-6 一丸ファルコス
 以上 1勝3敗

〈バスケット〉
 ・岐阜県リーグ(春季)
 (男子) 通算 6勝2敗
 ○70-63 岐阜教育大
 ○82-49 岐大医学部
 ○87-53 岐阜薬大
 ○70-61 岐阜高専
 ○81-58 高山短大
 ●69-79 岐大
 ○74-63 岐阜経済大
 ●57-76 朝日大
 (女子) 通算 5勝2敗
 ○53-48 東海女子短大
 ○67-27 岐大看護
 ○58-15 岐阜女子短大
 ●52-102 岐大
 ○53-40 聖徳短大
 ●21-46 岐阜教育大
 ○49-37 中部女子短大

事業報告

昭和六三年度事業報告の内容
 は、平成元年早春に第二号
 の機関誌を発行させて頂きま
 した。六三年の秋に発行予
 定ではありましたが、遅くな
 りましたこと紙面上ですが、
 お詫びさせて頂いたくださ
 います。
 平成元年三月九日、R科国
 家試験、三月十九日、M科国
 家試験と、同窓会よりお昼時
 に軽食をもてなしての全員合
 格を願っての応援に行ってい
 ました。また、三月十三日の
 卒業式に於て同窓会から記念
 品(湯のみ)を卒業生に贈呈
 いたしました。
 さて平成元年度事業計画は
 先ずパソコンを導入しまして
 M・R科全会員の動行を今ま
 で以上に把握し、同窓会本部
 と会員一人一人の連絡、会員
 同志の連絡、機関誌発行の際
 に於けるあて先確認、来年度
 にひかえている会員名簿作成
 など、多方面にフル活用して
 いきます。
 機関誌の発行は秋を目標に
 がんばりたいと思います。来
 年には国家試験時のもてなし
 卒業記念品の贈呈を恒例させ
 てもらいます。
 また本年十月十二〜十四日

同窓会会計報告

〈収入の部〉

項目	昭和63年度決算	平成元年度予算
会費	830,000	900,000
預金	3,539,461	3,781,216
寄付金	0	50,000
その他	50,250	70,000
合計	4,419,711	4,801,216

〈支出の部〉

項目	昭和63年度決算	平成元年度予算
活動費	217,185	30,000
会議費	85,528	200,000
交通費	197,530	200,000
交際費	0	10,000
通信費	134,340	200,000
助成費	0	20,000
備品費	840	650,000
その他	3,072	80,000
預金	3,680,431	3,141,216
合計	4,419,711	4,801,216

まで北海道札幌にて日本放射
 線技術学会開催に合わせ、
 北海道支部のR科卒業生の有
 志(二回生石川、三回生佐藤、
 杉山、四回生松浦)の皆様
 より同窓会が催されますので、
 助成させて頂いたくださ
 います。
 各支部での同窓会の開催を
 期待してまいります。
 お知らせ
 来年度名簿を発行します。必
 ず同封のハガキに詳しく記入
 の上、全員、返送下さい。
 お願いします。
 事務局

編集後記

今年の機関誌は、各ページ
 の下段に注目して下さい。お
 知らせが盛り沢山です。
 さて、編集作業も順調に進
 んで、内容も幅広く掲載してあ
 ります。
 サア、秋の虫の声を聞きな
 がら、心静かに読んで下され
 ば最高の夜が過ごせますヨ。
 本紙も根気強く、ねばり強
 く続けます。やるっきゃない
 のです。よろしく。